

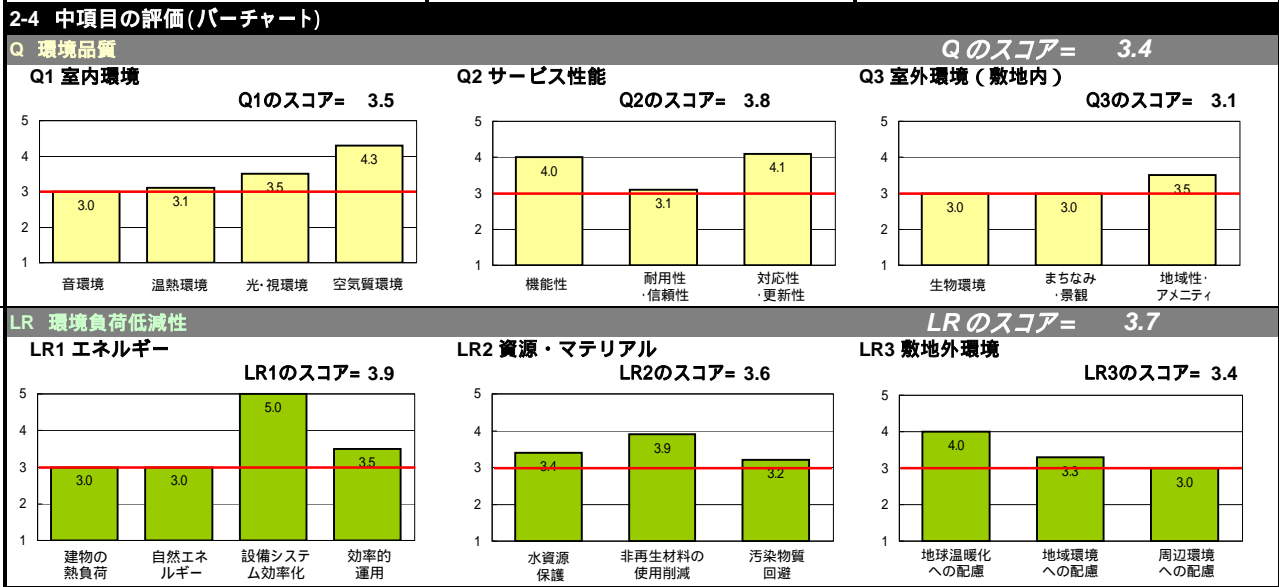
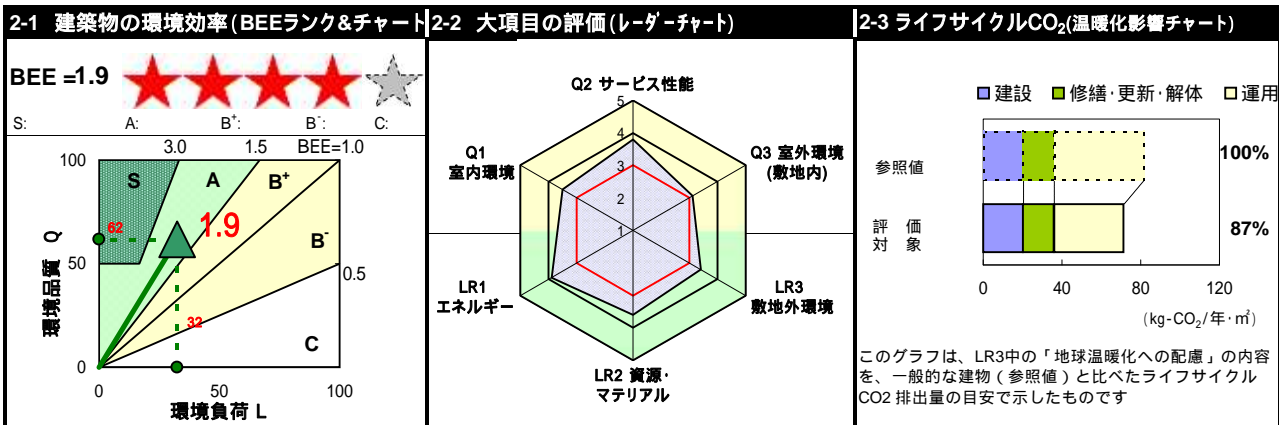
CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スリーポンド新研究棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県相模原市緑区大山町	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	150 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年11月8日
敷地面積	9,158 m ²	作成者	鹿島建設
建築面積	3,331 m ²	確認日	2010年12月16日
延床面積	8,510 m ²	確認者	鹿島建設

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
省エネルギー性の追求: 省エネに寄与する実験室換気、自然エネルギー利用 長寿命化への取組み: レイアウト変更、メンテナンスの容易な研究所システム 緑化の推進: 既存緑地、周辺と調和した庭園計画	0	
Q1 室内環境 快適な温熱環境維持、有機溶剤の封じ込め	Q2 サービス性能 将来的な可変性、メンテナンスを考慮した研究所システムの計画	Q3 室外環境(敷地内) 研究員、来訪者に対する豊かな室外環境の創出
LR1 エネルギー 実験室換気システムの省エネルギー対策	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の活用による非再生性資源の使用量削減	LR3 敷地外環境 近隣への悪臭、騒音対策

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい